



2026 年 8 月 14 日

各 位

会社名	株式会社ジーニー	
代表者名	代表取締役社長	工藤 智昭
	(コード番号: 6562 東証グロース)	
問合せ先	管理部 部長	佐藤 直樹
		(TEL. 03-5909-8177)

不正アクセス関連損失および貸倒引当金繰入額（その他の費用）の計上に関するお知らせ

当社は、2027 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）において「その他の費用」を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 「その他の費用」の内容について

(1) 「GENIEE MA」への不正アクセス関連損失について

当社は、2026 年 5 月 21 日付「『GENIEE MA』への不正アクセスに関するお知らせ」にて公表いたしました通り、当社が提供する「GENIEE MA」において第三者によるクラウド計算資源の不正利用が発生いたしました。本件による業績への影響につきましては精査中としておりましたが、サーバー提供元との協議を含め精査を進めた結果、現時点での合理的な見積りに基づき、当該事象に起因する当社の費用負担額として、当第 1 四半期連結累計期間において不正アクセス関連損失 181 百万円をその他の費用に計上しております。

当該不正アクセス関連損失 181 百万円は、現時点において合理的に見積もることが可能な金額を計上したものであり、今後の調査および精査の進展等により、最終的な損失額が変動する可能性があります。そのため、現時点では、本件に係る損失額は確定しておりません。

(2) 貸倒引当金繰入額の計上について

当社は、2026 年 6 月 1 日付で公表した決算訂正において、当社取引先（非上場会社）との受託開発取引に係る売上収益の計上および出資契約に係る投資有価証券の計上に関する会計処理を見直し、これに伴い生じた差額をその他の資産として計上しております。

当該その他の資産の回収は、開発システムの納品に伴う代金回収を前提としております。一方で、取引先における支払原資は、提携先との業務委託契約に基づく報酬収入に主として依拠しております。しかしながら、当該業務委託契約の締結には当局の許認可が必要であり、その許認可の取得に当初想定以上の時間を要していることから、現時点においては、当該その他の資産の回収可能性を判断するための客観的な状況がなお十分に整っていないと判断しております。

そのため、当社は、会計監査人と慎重に協議した結果、現時点の回収可能性に関する状況を踏まえ、当該その他の資産に対して貸倒引当金 198 百万円を設定し、同額の貸倒引当金繰入額をその他の費用として 2026 年 6 月期に計上することといたしました。

今後、取引先が当局許認可を取得し、提携先からの業務委託報酬の收受等により当該その他の資産に係る回収が進展した場合には、回収状況等を踏まえ、貸倒引当金の戻入が見込まれます。

2. 今後の見通し

上記による業績への影響につきましては、2026 年 6 月 1 日に公表いたしました「2027 年 3 月期の連結業績予想〔IFRS〕（連結）」から変更はございません。

以上